



題字：塚口福成園

※生活介護事業が作業で携わっている里芋で作成しています。

今年も季節がめぐり、新しい年度がスタートしました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。いろいろな制約も多かったこれまでと比べると、これからはできることや楽しみが増えそうです。引き続き感染対策をとることはもちろん、利用者の「ワクワク」を一緒に見つけ、『ふふふ』の輪を広げていきたいと思えます！



写真：チャレンジ・コヤリバ

テーマ:好きなもの

みんなが好きな・・・

利用者やスタッフが笑顔になる「好きなもの」を集めました！
市内に点在する10事業所のそれぞれの特色が感じられます。



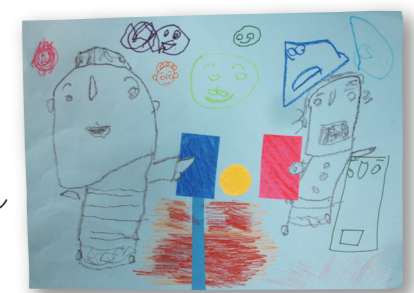
タイトル:わたしたちが好きなもの
作者:Cグループ【杭瀬福成園】



タイトル:手形と動物
作者:中心利用者【あいあい】



タイトル:ドレス 第2弾
作者:加藤 整さん【塚口福成園】



タイトル:ボックスピンポン
作者:分場利用者
【清流園武庫之荘分場】



タイトル:平和な日常
作者:大久保龍人さん
【チャレンジ・コヤリバ】



タイトル:ハッピーフェイス
作者:星班利用者
【サポートセンターまつば】

大好きな野球

利用者に「好きなものを教えてください」と伝えると、「野球が好きです」と答えた方がおむろにロッカーからグッズを。同じ種類のものを含めた3つの帽子や複数チームのグッズ。そして自慢げな笑顔を見せていただきました。

昆陽川沿いの歩道

みのりの隣を流れる昆陽川沿いの歩道では毎年桜のアーチがかかります。季節を問わずいろんな野鳥がやってきて、運が良ければきれいなカワセミも見ることができます。ゆっくりお散歩コースにおすすめです。

みんなが好きな運動

運動の際に「大縄跳び」を新たに提供しています。学校時代を思い出し懐かしと思われる方も多くいらっしゃるようで、笑顔で参加されています。中には連続でミスなく跳び続けることができる方もおられ、利用者やスタッフから歓声の声が上がっています。

みんなが好きな献立

七松分場の利用者は、給食で食べたいメニューの聴き取りをおこなうと、多くの方が「カレー！」と答られます。毎日はおくらんと自慢のカレーを混ぜたり、お客様に提供したりしているので、ついリクエストしてしまうのかなと思います。

散歩コース

活動で行く散歩コース。武庫川沿いにある桜並木やイチョウの木、コスモス畑など季節を楽しめるおすすめスポット。おすすめはイチョウの木。天気の良い日には利用者から「散歩いきたい」言われ、その日の活動になることもあります。

ぷちるぽのお風呂

1人では少し大きなぷちるぽのお風呂。「おんせーん！」と呼んでくださる方もいて、ちょっとした旅行気分を感じただけにいるのかもしれない。入浴後のフルーツ牛乳はありませんが、よく冷えた麦茶を飲んでいただいています。

相談支援センターことのは

チャレンジ・コヤリバ

尼崎市障害者就労・生活支援センターみのり

ショートステイぷちるぽ

サポートセンターまつば

杭瀬福成園

あいあい

塚口福成園

月に1度のクラブ活動

人気の茶道クラブでは、朝からお点前のジェスチャーをされ、まだかまだかと楽しみにされています。先生と一緒にたてたお茶を味わってられます。

制作

オリジナリティのあふれる作品を制作していただきます。今回はスクラッチアートで大好きな生物を表現してくださいました。

みんなが好きなお出かけ

毎日さまざまな相談をいただきますが、その中でも多いのが移動支援の利用に関するご相談です。事業所や仕事が休みの日に、映画やショッピング、プール、水族館などへのお出かけを楽しみにされています。

セントラル レッツソーイング!

趣味の裁縫を生かすためにミシンを購入し、日ごろからホームで使う雑巾を作ったり他の利用者のズボンの裾を上げたりされています。できあがるとみなさまが喜ばれ、ご本人も笑顔でうれしそうにされています。

各事業所からの『ふふふ』

清流園

楽しい会話と身ぶりでみなさまを笑顔にしてくれるAさんが真剣にハートの飾りを作っていました。別々に暮らしているお母さんに会いに行った次の日、スタッフに「あれ(ハートの飾り)渡してきたで」とありました。Aさんの優しさにこちらのハートが奪われた出来事でした。

杭瀬福成園

いつもは1階で活動されているBさん。降所前の15時ごろになると2階に上がって来られ、笑顔で「今日も頑張ったよ!」と言いに来てくださいます。そんなBさんの姿を見ると明日も頑張ろうと、明るい気持ちになります。

あいあい

いちご狩りの感想を利用者に聞いていった際に、ほとんどの方は「いちごがおいしかった～」といちごの感想を話して下さる中、「練乳がおいしかった」と練乳のおいしさを語って下さる利用者がいました。

サポートセンターまつば

毎年、年に1度の外出支援を楽しみされている利用者が多いです。外出当日には、イヤリングなどおしゃれをされる方もいて、スタッフや実習生に「すてきですね!」と声をかけられ、うれしそうな様子で外出されました。

塚口福成園

2月より中心B型に新しく男性が1名利用されています。初めての環境、初めての作業など初めてづくしではありますが、すぐに塚口の生活に慣れ、数日後には2階ホールの座敷に転がりゆっくりとテレビを見る姿があり、ふふふとなりました。

チャレンジ・コヤリバ

あまやさいの販売に関わるようになり、プログラムで野菜について調べました。それぞれが好きな野菜を発表。「トマトが一番、毎日でもいける」と熱弁する利用者から次回の調理実習でトマトを使うように全体に猛アピール。でもメニューはこれから決めるところです。

尼崎市障害者就労・生活支援センターみのり

春に学校を卒業された方がたくさん「みのり」に登録しに来られました。4月からは社会人一年生、みなさまそれぞれの期待や意気込みをお聞きしていると「自分もがんばろう」と思いました。春は芽吹きのパワーで満ちています。

ショートステイぷちるぼ

セントラル

ことのは

総務部

今号の特集記事では、たくさんの利用者の「好き」が集まりました。編集する中でイロイロな「好き」に触れることができました。仕事の中や日々の生活の中で、利用者の「好き」につながる場面に出会った時には、「そういえば…」と利用者の顔が浮かび、思い出して思わず笑みがこぼれています。「好き」は元気のみなもとです。みなさまにもワクワクと元気のおすそ分けができたでしょう。